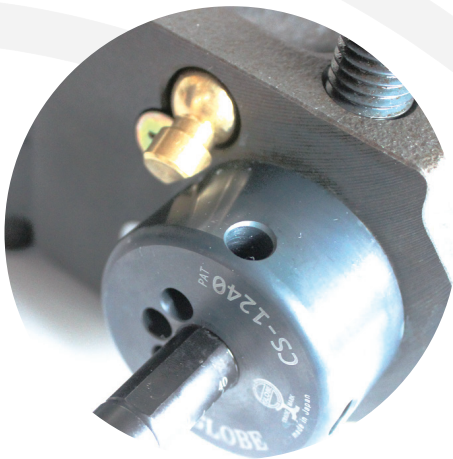


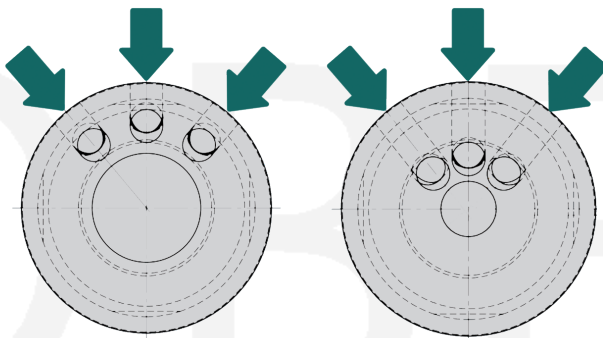
クーラントを一度空中に飛ばして方向を変換する方式のため、  
**Point.2** パイプなどでの複雑な接続が必要ありません。



「クーラントチューブスリーブ®」の側面に設けられたクーラント誘導穴にクーラントを流し込むだけで刃先に安定したクーラントを供給できます。

従来のように毎回パイプ等を曲げてクーラントのかかりを調整する必要がありません。  
また、内部給油式とは違い、機械のメーカー・年式によって方式が異なったり専用のパイプ等で接続する必要がありません。

クーラントを流し込む穴の位置が各サイズ同じなので  
**Point.3** クーラントの射出方向の調整が不要になります。



「クーラントチューブスリーブ®」は、クーラントを流し込む位置を各サイズ統一しているため、一度ターレットにエルボをセットすれば、それ以降はスリーブ交換などの段取り替えの場合でも、クーラント方向の調整は、ほとんど不要です。

各ホルダー形式に対応したエルボを用意しております。



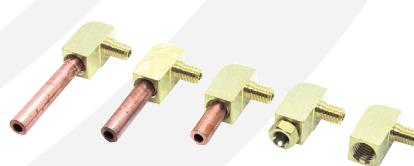
ボール状のノズルをビスで固定しているタイプのホルダ



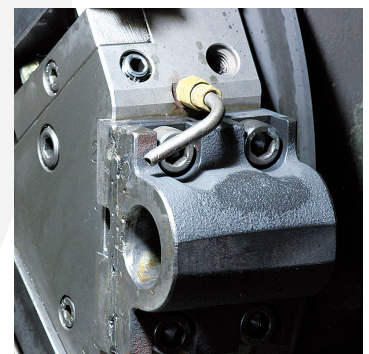
自社製、ナベヤ製等がございます。  
様々なボールのサイズに対応できます。



クーラント射出口にネジが切ってあるタイプのホルダ



自社製、ピスコ製等がございます。  
ネジの長さやバリエーションを数多く用意しております。



パイプがターレットから直接伸びているタイプのホルダ



お持ちの機械にあらかじめ付いているパイプをご用意いただくか、弊社で販売している銅パイプをご用意下さい。

クーラントを流し込みにくい場合に便利なスペーサーもございます。  
詳細はP.8の「スリーブパーツ」をご参照下さい。